

## 西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体					
西区写真展			西区写真展実行委員会					
事業目的	事業内容	活動指標	R4	R5	R6			
西区に在住・在勤・在学する者が撮影した、テーマに沿った写真を募集・展示し、広く区民に観てもらおうことで、わがまちの魅力を再発見並びに西区への地域愛の醸成を図る。	募集テーマを設定の上、西区在住・在勤・在学者から西区の魅力が表現されている写真を募集し、応募作品のすべてを西区役所玄関ホールにて展示する。また、若い世代の参加を促すため、携帯電話・スマートフォンで撮影した写真の応募も可とし、応募者を一般の部、高校生以下の部の2部門に分け、それぞれ金賞・銀賞・銅賞等を選出する。	応募作品数 (応募人数)	73点 (73人)	74点 (74人)	67点 (67人)			
		来場者アンケートによる満足度(「大変よかった」「良かった」の割合)	90%	89.5%	100%			
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性		
○	来場者の満足度は100%と高く、「西区の知らなかった催しを知れた」、「西区のいろいろな景色を見れて良かった」といった声があることから、「わがまちの魅力を再発見並びに西区への地域愛の醸成が図られていると考えられ、事業を実施する妥当性がある。	○	テーマ設定など企画段階から区民が実行委員として参画しており、事業計画の検討や入賞作品の審査を行った。また事業の広報は地域住民が担った。行政は事務局としてサポートしており、区民と行政が協働で実施している事業である。	○	区役所の玄関ホールで応募全作品を展示することで、他の用件で区役所を訪れた方にも写真展を楽しんでいただけた。また、受賞作品を紹介するポスターを作成し、区内商業施設や阪和線各駅に掲示することで、西区民だけでなく西区に訪れた方にも区の魅力をPRすることができた。	○	応募方法については、前年度に続き、電子申請システムの受付を行った。電子申請システムの受付が半数以上あり、応募者への通知や管理を効率的に行うことができた。	
⑤自立発展性		総合評価						
△	区民が自立して取り組むには予算や展示場所の確保等が難しく、今後も行政と区民の協働実施が望ましい。	○	来場者アンケートの「大変良かった」「良かった」の割合は100%であり、作品展としての満足度は非常に高かったとみられる。全体の応募数は昨年から減少したものの、今回の応募者のうち約30%が初めての応募者であり、10代から80代までの全ての世代で応募があることから、幅広い世代の方がわがまちの魅力を再発見し、西区への愛着を育む機会となっている。					
今後の方向性(課題、改善提案等)								
拡充 継続 見直し 廃止	今回で27回目となる西区写真展は、地域住民に定着し、アンケートにおいても「毎年楽しみにしている」という声をいただいている。今回も春から夏にかけて募集を行ったことで、彩りある写真展となった。参加者からはテーマに沿った写真を撮影するのが難しいという声もあり、応募数は減少したものの、全応募者のうち約30%が新規応募者であった。今後は実行委員や区民の意見、アンケート結果を踏まえながら、テーマ設定や展示場所の見直しを進めることで、より多くの区民に参加してもらえよう、事業内容を検討する。							